

2020年度新型コロナウイルス対応緊急支援助成 資金分配団体公募 採択事業

事業名 主題	失業者を救う自伐型林業参入支援事業
事業名 副題	アフターコロナの持続・自立した生業の創出
対象地域	全国
団体名	特定非営利活動法人地球と未来の環境基金 <コンソーシアム申請>
代表者名	理事長/事務局 古瀬 繁範
解決すべき社会課題	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動；⑥地域の働く場づくりの支援
事業の概要	<p>コロナ禍による民間企業の経営環境悪化に伴い解雇や雇い止めが急激に増加しつつあり、生活を支える新たな仕事・生業づくりは喫緊の課題となっている。</p> <p>本事業においては、コロナ禍による失業や生活困窮に遭い、新たな仕事として林業就業を希望する人を対象とし、経済的・環境的に持続可能で災害に強い森づくり・森林経営手法である自伐型林業の技術研修・経営指導や、地域の持続的な林業を継続するための森林資源の活用システム構築を支援する。</p> <p>本事業を通じた持続的な仕事づくりは、失業者・生活困窮者を救うだけでなく、中山間地域の少子高齢化対策、集落機能の維持、ウィズコロナの時代における新しい社会構造の構築にも貢献する。</p>
事業期間	1年
助成額 (円)	60,267,799

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ Withコロナの価値観として、都会を離れ、地方の自然資源を有効に活用する仕事への求心力が、出てくると考えられます。面白く、うまくいけば広げていきたい取り組みであると考えます。 ・ 働き口と直結した申請であり、コロナで職を失った方々への職業訓練としての取り組みに値する事業であると考えます。 ・ 単年度の取り組みだけでなく、中長期的な活動につながるようなしかけが必要と思われる。 ・ 林業体験・研修から地域居住という道筋の実現可能性が見えないところがあります。 ・ 実行団体の取り組み状況を貴団体が広く発信することで、更にインパクトを高めていただきたいと考えます。
--------	---

※審査コメントは、審査時点（2020年7月初旬）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2020年9月下旬）のものであります。